

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 院内感染対策施設整備費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療整備係 電話番号：058-272-1111 (内 2535)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 16,130 千円 (前年度予算額：8,792 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,792	8,792	0	0	0	0	0	0	0
要求額	16,130	16,130	0	0	0	0	0	0	0
決定額	16,130	16,130	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) などの耐性菌の増加に伴い、院内感染症に適切に対応するため、病院の個室化を促進することにより、患者のプライバシーを保護するとともに、院内感染の拡大防止を図る。

(2) 事業内容

- ・院内感染対策施設整備費補助金 16,130 千円
補 助 先：木沢記念病院
事 業 費：48,391 千円 (令和3年度進捗分)
- ・木沢記念病院は令和元年度より新病院建設工事に着手しているが、新病院の1、3、7、8階に院内感染者のための個室を計7室 (145.93 m²) 整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助金 (医療施設等施設整備費補助金) の活用
補助率：国 1 / 3

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	16,130	医療施設等施設整備費補助金
合計	16,130	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・ MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) による院内感染が問題となったことを踏まえ、平成6年度に創設された国庫補助金。

(2) 後年度の財政負担

- ・ 令和3年度までの2ヶ年の継続事業であり、今後の財政負担は発生しない。

事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などの耐性菌の増加に伴い、院内感染症に適切に対応するため、病院の個室化を促進することにより、患者のプライバシーを保護するとともに、院内感染の拡大防止を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の計画に基づく施設整備に対する補助であるため、目標の設定ができない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

院内感染対策として個室の整備を実施する1病院に対し、補助金を交付予定。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

院内感染対策として個室の整備を実施する1病院について、令和2年度から3年度までの2カ年事業により整備が完了する予定。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	院内感染防止対策への補助により、県民への安全・安心な医療の提供に資するものであり、事業の必要性が高いと言える。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	整備を計画している医療機関では、院内感染の拡大防止が図られる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	事業実施主体において競争入札により経費を節減しており、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 整備した個室において、院内感染対策が適切に行われているか、継続的に確認する必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も院内感染者のための個室整備を行う病院、診療所については、引き続き取り組みを支援していく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	